

2022年4月2日配布

第297回山口西田読書会（=2022年3月12日開催分）の Protokol

佐野之人記

1. テキスト：「場所」「三」の第3段落241頁13行目～第4段落243頁4行目まで。

2. テキスト講読

翻って、「力の実在性」も物が「基体」であるのも、この「意志の非合理性」によって維持されるのである（物が「非合理」であるとは「所謂述語一般としては限定し得ざるものであるが而も述語を内に包む」ということに他ならない）。また判断は主語と述語の間（場所）に①「超越的なもの」が見られ（それが「潜在的なるもの」である時に、「働くもの」となる）、かつ②この「場所」が「限定せられた場所」である時、主述を結合するものが判断となるのである。それ故自由意志そのものは決して判断の対象とはならない。

#### 第4段落

冒頭の解釈を表示しようと試みたが、解釈が分かれた。次回をお楽しみに。